

自動走行システム・システム実用化WG(第51回)議事録

1. 日時 平成28年 9月28日(水) 10:00 ~ 12:00

2. 場所 中央合同庁舎8号館6階 623会議室

3. 出席者:

(PD)	葛巻 清吾	トヨタ自動車株式会社 CSTO補佐	
(主査)	稲垣 敏之	筑波大学 副学長・理事(総務・人事担当)	
(副主査)	鵜浦 清純	株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 主任研究員	
(副主査)	金光 寛幸	トヨタ自動車株式会社 コネクティッドカンパニー コネクティッド統括部 統括室 技術渉外グループ長	
(副主査)	谷口 覚	トヨタIT開発センター 取締役社長	
	浅田 浩之	三菱自動車工業株式会社開発本部 車両先行研究部 部長	(代理: 渡辺武司)
	内村 孝彦	ITS Japan 常務理事 自動運転プロジェクトリーダー	
	佐藤 章典	電子情報技術産業協会 (日本電気新事業推進本部 スマートモビリティシニアパート)	
	柴田 英司	富士重工業株式会社 車両研究実験第4部 主幹	
	村上 裕一	日本自動車部品工業会 (アイシン精機(株) 技術企画部 首席技師)	
	山田 憲一	ダイハツ工業株式会社 電子技術部 ASV開発室 主担当員	
	山本 康典	マツダ株式会社 技術研究所 人間機械システム研究 研究長	
	楠 正憲	内閣官房情報通信技術総合戦略室 政府CIO補佐官	
	市川 類	内閣官房 情報通信技術総合戦略室 参事官	(代理: 大嶋宏明)
	佐野 裕子	警察庁 長官官房 参事官	(代理: 関川朋大)
	中村 裕治	総務省 総合通信基盤局新世代移動通信システム推進室 室長	(代理: 北城崇史)
	奥田 修司	経済産業省 製造産業局 電池・次世代技術ITS推進室 室長	

(自動走行システム推進委員会)

(SPD)	杉本 洋一	株式会社本田技術研究所 四輪R & Dセンター 上席研究員
(SPD)	福島 正夫	日産自動車株式会社 グローバル技術渉外部 ITS技術顧問
	岩貞 るみこ	自動車ジャーナリスト
	加藤 晋	産業技術総合研究所 研究グループ長
	川本 雅之	筑波大学 教授
	清水 和夫	自動車ジャーナリスト
	永井 正夫	日本自動車研究所 代表理事・研究所長

(国際連携WG)

三角 正法	ISO/TC204/WG14 国際コンピナー / ITS標準化委員会 走行制御分科会長
-------	---

(事務局)

森下 信	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 企画官
竹馬 真樹	内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 政策調査員

3. 出席者:

4. 議題

4.1. 事務局報告

- (1) 会議日程変更連絡
- (2) システム実用化WG対象施策 進捗状況報告

4.2. 施策状況報告

(1) 中間報告

- ・経6 「走行映像データベース構築技術の開発及び実証」
- ・経6 「V2X等車外情報の活用に係るセキュリティ技術の研究・開発」
- ・経6 「交通事故低減効果詳細見積りのためのシミュレーション技術の開発及び実証」

(2) 警3施策「自動走行の実現に向けた車両・歩行者等検知情報提供技術の確立」受託者説明

4.3. 地図構造化TFからの情報共有

(1) 経6 「ダイナミックマップの国際標準化と海外動向等調査」検討状況報告

- ・海外との連携方策について
- ・アーキテクチャ(案)

4.4. 今年度追加施策に向けて

(1) 今年度実施内容の最終版報告

- ・自動走行システムの普及展開に向けた社会的・産業的分析に関する調査
- ・ダイナミックマップに係る共通プラットフォーム化に関する調査研究
- ・ダイナミックマップに係るアーキテクチャに関する調査研究

4.5. 情報共有・その他

(1) 受容性醸成に向けたコンテンツ製作(国際連携WG活動)

5. 配布資料

資料5 1-1-1	SIP自動走行システム会議予定(2016年4月～2017年3月)	【非公開資料】
資料5 1-1-2	H28年度施策一覧	【非公開資料】
資料5 1-2-1-1	走行映像データベース構築技術の開発及び実証中間報告	【非公開資料】
資料5 1-2-1-2	V2X等車外情報の活用に係るセキュリティ技術の研究・開発中間報告	【非公開資料】
資料5 1-2-1-3	交通事故低減効果詳細見積りのためのシミュレーション技術の開発及び実証中間報告	【非公開資料】
資料5 1-2-2	自動走行の実現に向けた車両・歩行者等検知情報提供技術の確立に関する調査研究	【非公開資料】
資料5 1-3-1	海外との連携方策について	【非公開資料】
資料5 1-3-2	アーキテクチャ	【非公開資料】
資料5 1-4-1	自動走行システムの普及展開に向けた社会的・産業的分析に関する調査	【非公開資料】
資料5 1-4-2	ダイナミックマップに係る共通プラットフォーム化に関する調査研究	【非公開資料】
資料5 1-4-3	ダイナミックマップに係るアーキテクチャに関する調査研究	【非公開資料】
資料5 1-5	受容性醸成に向けたコンテンツ製作	【非公開資料】
参考資料1	システム実用化WG(第50回)議事録案(電子配布)	【非公開資料】

6.議事録

4.1.事務局報告

- (1) 会議日程変更連絡
- (2) システム実用化WG対象施策 進捗状況報告
 - 資料5 1-1-1、1-2に基づき、事務局より説明があった。

4.2.施策状況報告

- (1) 中間報告
 - ・経6 「走行映像データベース構築技術の開発及び実証」
 - ・経6 「V2X等車外情報の活用に係るセキュリティ技術の研究・開発」
 - ・経6 「交通事故低減効果詳細見積りのためのシミュレーション技術の開発及び実証」
 - 資料5 1-2-1-1、2-1-2、2-1-3に基づき、説明と議論があった。
- (2) 警3施策「自動走行の実現に向けた車両・歩行者等検知情報提供技術の確立」受託者説明
 - 資料5 1-2-2に基づき、説明と議論があった。

4.3.地図構造化TFからの情報共有

- (1) 経6 「ダイナミックマップの国際標準化と海外動向等調査」検討状況報告
 - ・海外との連携方策について
 - ・アーキテクチャ(案)
 - 資料5 1-3-1、3-2に基づき、説明と議論があった。

4.4.今年度追加施策に向けて

- (1) 今年度実施内容の最終版報告
 - ・自動走行システムの普及展開に向けた社会的・産業的分析に関する調査
 - ・ダイナミックマップに係る共通プラットフォーム化に関する調査研究
 - ・ダイナミックマップに係るアーキテクチャに関する調査研究
 - 資料5 1-4-1、4-2、4-3に基づき、説明と議論があった。

4.5.情報共有・その他

- (1) 受容性醸成に向けたコンテンツ制作(国際連携WG活動)
 - 資料5 1-5に基づき、説明と議論があった。